

授業で使える

博物館

先生方のための活用ガイド 盛岡市内小中学校用

先人教育（総合的な学習の時間）などにご利用ください

来館までの流れ

ステップ 1 見学申し込みを電話でお受けします

日時と人数の確認をします。（注）児童生徒数が多い場合、グループに分けて見学していただくこともあります。一度に見学可能な人数の目安は、下記の表を参考にしてください。

すでに他団体の予約がある場合など、ご希望に添えない場合もあります。複数の候補日を検討した上でのご連絡をおすすめします。

ステップ 2 見学内容や方法の希望をお伺いします

ステップ 3 必要書類を提出していただきます

「入館申込書」「入館料減免申請書」（引率教員分）を提出します。
様式は「盛岡市文化振興事業団」のホームページより印刷できます。（提出方法：FAX可）
※授業の一環として来館の場合、引率教員の入館料は免除されます。
（令和8年度より市内小中学生の入館料は無料になりました。）
※提出いただいた「入館申込書」を元に、必要に応じて見学内容の確認と詳細の打ち合わせをします。



▲盛岡市文化振興事業団HP

▼ご来館にお役立てください。

	休館日 ^{※1}	大型バス 駐車場	展示室内見学可能な 最大児童生徒数	展示解説や館内 講座実施の可否 人数については要相談	担当教員の 下見（無料）の可否	その他
盛岡市 先人記念館	月曜日・ 毎月最終火曜日	有	3クラス程度 ^{※2}	可	可	・ボランティアによる解説もできます ・ホールで昼食をとれます
原敬記念館	月曜日	有	1クラス程度	可	可	・原敬生家の見学ができます ^{※4}
石川啄木 記念館 ^{※3}	月曜日	有	1クラス程度	可	可	・玉山歴史民俗資料館や旧尋常小学校等 ^{※4} と 併せての見学の場合、一度に2～3クラス 程度の見学が可能です ・ホールで昼食をとれます
盛岡てがみ館	第2火曜日	無	1クラス程度	可	可	

※1 月曜日が祝休日にあたる場合、翌平日が休館日となりますのでご注意ください（盛岡てがみ館を除く）。

この他、臨時休館日があります。詳細は各館にお問い合わせください。

※2 新渡戸・米内・金田一の3記念室にそれぞれ分散した場合の最大児童生徒数です。

※3 石川啄木記念館には盛岡市玉山歴史民俗資料館が併設されています。

※4 原敬記念館と石川啄木記念館では、原敬生家や旧尋常小学校等の屋外施設の見学ができない時期があります。詳細は各館にお問い合わせください。

出前講座（無料）も実施しています！

各館職員が学校に出向いて、講座を行います。
来館が難しい場合や、見学の事前学習におすすめです。
館により内容や申し込み締め切りが異なりますので、
まずは電話でお問い合わせください。



盛岡市先人記念館



原敬記念館



石川啄木記念館・盛岡市玉山歴史民俗資料館



盛岡てがみ館

もりおか せんじん きねんかん 盛岡市先人記念館

明治期以降に活躍した盛岡ゆかりの先人130人を紹介しています。一階の新渡戸稲造・米内光政・金田一京助のそれぞれの展示室では、遺品や著書・写真等、業績や人柄がわかるような実物資料を展示しており、郷土の先人とその業績について学ぶことができます。



おすすめ①

展示案内

職員やボランティアが展示室での案内を行います。



おすすめ②

講座

スライドなどを使って、先人について分かりやすく解説します。

- その他
- 新渡戸稲造、米内光政、金田一京助の生涯が学べる貸出用の巨大すごろくもあります。低学年にもおすすめ!
 - 「親子の架け橋〜一筆啓上〜」児童生徒作品を館内にて掲示紹介します。

見学申し込みには「入館申込書」が必要です

FAXまたはメール(盛岡市先人記念館E-mail:senjin-gakugei@mfca.jp)でご提出ください。詳細は、当館ホームページをご覧ください。

.....見学申し込みはご来館希望日の原則40日前まで.....

見学の事前学習にご利用いただける出前講座も行っています。詳細はご相談ください。

〒020-0866 盛岡市本宮字蛇屋敷2-2
TEL 019-659-3338 FAX 019-659-3387
E-mail senjin-gakugei@mfca.jp
休館日:月曜日(祝休日の場合は翌平日) 毎月最終火曜日(休日を除く)



はらけい きねんかん 原敬記念館

『宝積(人に尽くして見返りを求めない)』
原が目指したその精神や生き方を学べます。

現在の盛岡市に生まれ、第19代内閣総理大臣を務めた原敬(1856~1921)の業績を紹介する博物館です。19歳から65歳まで書き続けた「原敬日記」(岩手県指定有形文化財)をはじめ、暗殺された時に着ていた衣服、直筆の書や手紙など、貴重な資料を収蔵・展示しています。



施設見学 小中学生向けの解説が充実しています

- 原敬の生涯を分かりやすくまとめた展示パネルや解説シートがあります。
 - 館長や学芸員が展示資料を分かりやすく解説します。
 - 盛岡市指定有形文化財である原敬生家(1850年に建てられた武家屋敷)の内部も解説付きで見学することができます。
- ※原敬生家茅葺屋根等修繕実施予定につき、6月以降の見学の可否については、未定です。確定次第、ホームページ等でお知らせいたします。
- 庭園の写生など、芸術活動にも利用できます。

私が解説パネルでナビゲートします



出前授業 ご希望に沿った内容をお話しすることができます

- 例えば
4年生「原敬の少年時代」...少年時代の生活や逸話などについて
5年生「原敬の業績」...新聞記者や外交官、政治家としての業績について
6年生「原敬の生涯」...数々の困難を乗り越えた生き方について
- ※このように3ヶ年計画で段階的に学習を進めることも可能です。
- 紙芝居の画像やスライドなどを使って解説することもできます。

〒020-0866 盛岡市本宮4-38-25
TEL 019-636-1192 FAX 019-636-1185
E-mail harakei-jimu1958@mfca.jp
休館日:月曜日(祝休日の場合は翌平日) 他臨時休館あり



いしかわたくぼ きねんかん もりおかしたままれきし めんぞくしりょうかん 石川啄木記念館・盛岡市玉山歴史民俗資料館

石川啄木記念館
近代日本を代表する歌人・石川啄木(1886~1912)啄木のふるさと盛岡市浜民で、ゆかりの資料や建物をとおして、その生涯や功績を紹介している博物館です。



施設見学

展示室には、啄木が弾いたオルガンや遺品、てがみなどの資料があります。また中庭には、啄木が学び教えた旧浜民尋常小学校や家族で暮らした旧齋藤家が移築保存されています。



▲全面リニューアルした常設展示室



▲旧浜民尋常小学校

講座① 啄木の人生や作品について学ぼう

紙芝居やスライドなどで、啄木の26歳2か月の生涯について、作品とともに紹介します。啄木を学ぶ「はじめの一步」として、「まとめ学習」として、様々な場面でご利用ください。学習で出てきた啄木への様々な質問へも職員がお答えします。例)好きな食べ物は何? ▲紙芝居

講座② 啄木かるた講座

啄木短歌をかるたにした、「啄木かるた25首(イラスト入り)」や「啄木かるた100首」を使用し、遊びながら啄木の作品にふれられる講座です。



▲啄木かるた100首



▲啄木かるた大会(毎年2月開催)

盛岡市玉山歴史民俗資料館
盛岡市玉山地域の暮らしや文化を豊富な民俗資料で紹介しています。(石川啄木記念館に併設)



常設展示室▶

〒028-4132 盛岡市浜民字浜民9
TEL 019-683-2315 FAX 019-683-3119
E-mail inf0_takuboku0ku.0413@mfca.jp
休館日:月曜日(祝休日の場合は翌平日) 他臨時休館あり



もりおか かん 盛岡てがみ館

盛岡にゆかりのある先人の手紙や原稿などを収蔵し、展示している全国でもめずらしい施設です。周辺には「岩手銀行赤レンガ館」や「もりおか啄木・賢治青春館」、中津川をはさんで対岸には「盛岡城跡公園」や「もりおか歴史文化館」があり、地域学習等とあわせて、利用できます。

常設展示資料

「石川啄木」・「金田一京助」・「宮沢賢治」らの手紙を展示しています。

『一握の砂』で有名な天才歌人石川啄木と、親友として物心両面から支えアイヌ語研究に生涯を捧げた金田一京助との絆にふれることができます。



ふるさとを愛した歌人「石川啄木の手紙」▶



▶「金田一京助の手紙」

盛岡の先人教育で取り上げられている「原敬」、「新渡戸稲造」、「米内光政」、「金田一京助」、「石川啄木」の書簡を期間限定で展示します。5人の先人の文字にふれながら思いを感じることができます。※展示期間についてはチラシなどでお知らせします。

総合的な学習や社会科見学の一環として、手紙をとおして、先人の生き方を学ぶことができます。学校のご要望に合わせて対応いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

〒020-0871 盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでっ6階
TEL&FAX 019-604-3302(※FAX受け付けは17時30分まで)
E-mail tegamikan@mfca.jp
休館日:毎月第2火曜日(祝休日の場合は翌平日) 他臨時休館あり

